

2004年12月の東北地方の天候

【12月の特徴】

- ・中旬までの顕著な高温、下旬の低温
- ・29日と31日に東北太平洋側で大雪

(1) 2004年12月の概況

中旬までは低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となったが、寒気の南下は弱く長続きしなかった。このため、上旬、中旬共に平均気温はかなり高かった。しかし、下旬には冬型の気圧配置となって強い寒気が南下し、一転して低温となった。

また、29日と31日には南岸低気圧により東北太平洋側で大雪となり、交通機関に障害が発生した。

月平均気温は東北北部で高く、東北南部でかなり高い。月降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。月間日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。

(2) 各旬の天候経過

上旬：低気圧や寒冷前線が数日の周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側は曇りや雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日多かった。しかし、寒気の南下は弱く、冬型の気圧配置が長続きしなかったため、東北地方は平年に比べ晴れの日多かった。なお、4～5日にかけては急速に発達した低気圧が本州を縦断したため、東北地方は大雨や暴風により被害が発生した。また、南から暖かい空気が流れ込み、小名浜で日最高気温が夏日となる25.4℃を記録するなど東北南部を中心に記録的な高温となった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で多く、東北太平洋側でかなり多い。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で多い。

中旬：低気圧や寒冷前線が短い周期で通過し、通過後は冬型の気圧配置となった。東北日本海側は曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側は晴れの日多かった。しかし、寒気の南下は弱く、東北日本海側では平年に比べ晴れの日多かった。なお、16～17日は寒冷前線の通過後冬型の気圧配置が強まって東北南部で暴風となり、交通機関に乱れが生じた。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で少ない。日照時間は東北日本海側でかなり多く、東北太平洋側で平年並。

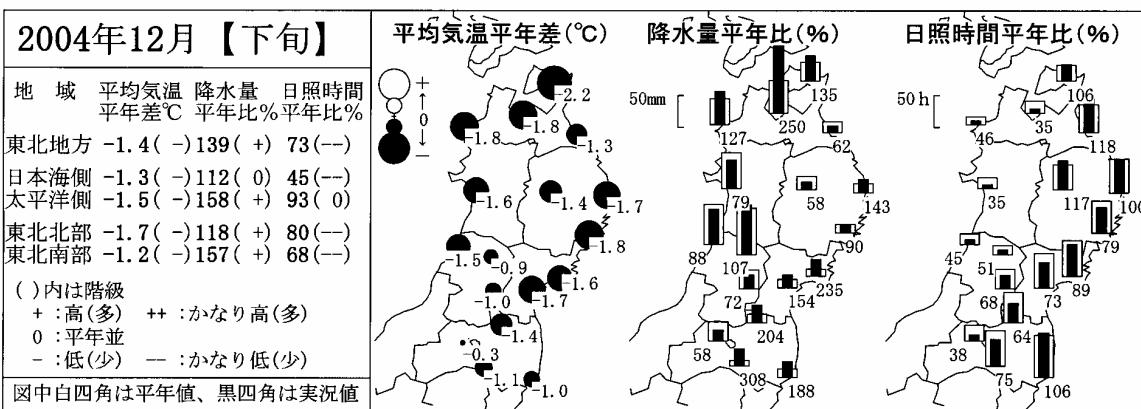
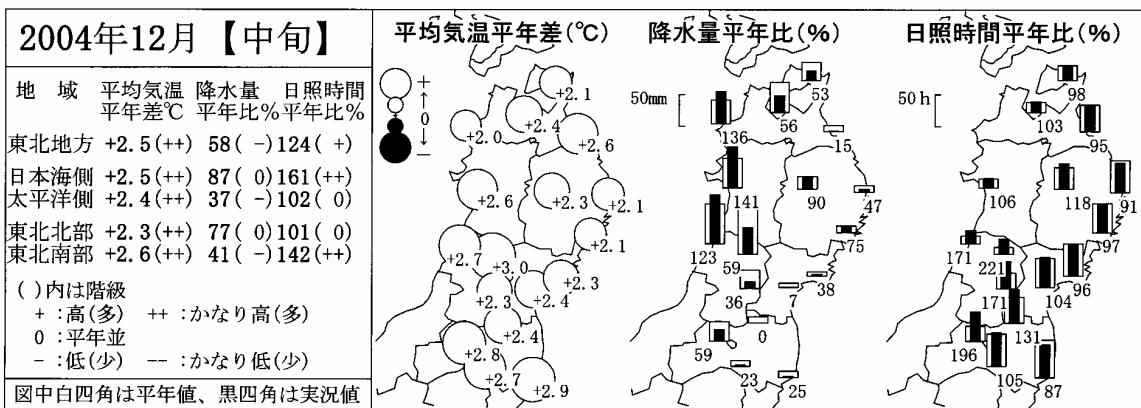
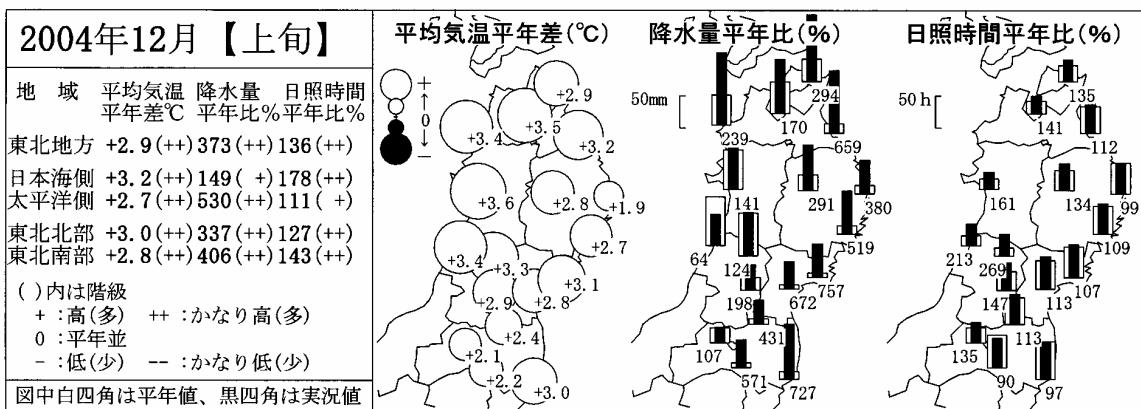
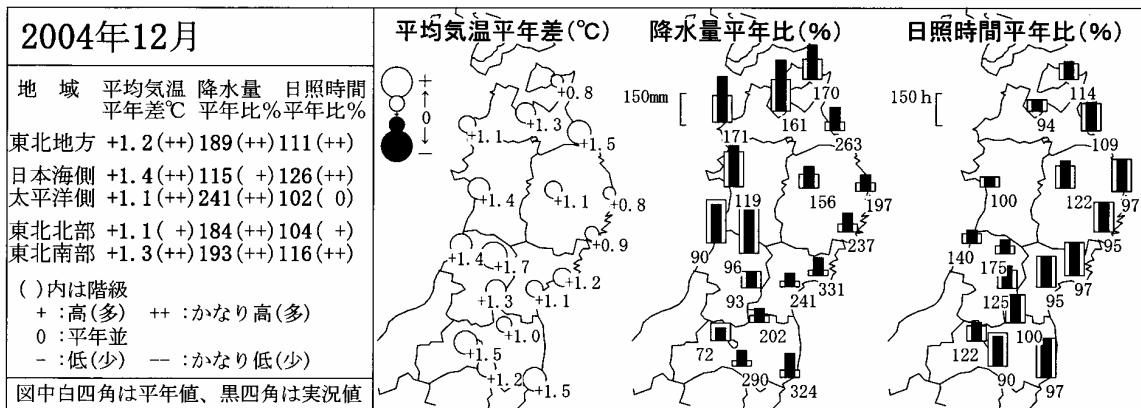
下旬：冬型の気圧配置となって強い寒気が南下し、東北日本海側では曇りや雪の日が続いたが、東北太平洋側では晴れの日多かった。しかし、29日と31日には南岸低気圧により東北太平洋側でも大雪となり、交通機関に障害が発生した。

平均気温は東北地方で低い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北日本海側でかなり少なく、東北太平洋側で平年並。

注）気候統計値は、東北地方にある17地点の気象台、測候所、特別地域気象観測所の観測値より求めています。
細分地域については2ページ目脚注を参照して下さい。

平年値の統計期間は1971-2000年です。階級区分については、3ページ目脚注を参照して下さい。

(3) 2004年12月の月・旬平均(合計)値の平年差(比)



注) 細分地域 東北日本海側：青森県津軽、秋田県、山形県、福島県会津

東北太平洋側：青森県下北・三八上北、岩手県、宮城県、福島県中通り・浜通り

東北北部：青森県、秋田県、岩手県

東北南部：宮城県、山形県、福島県

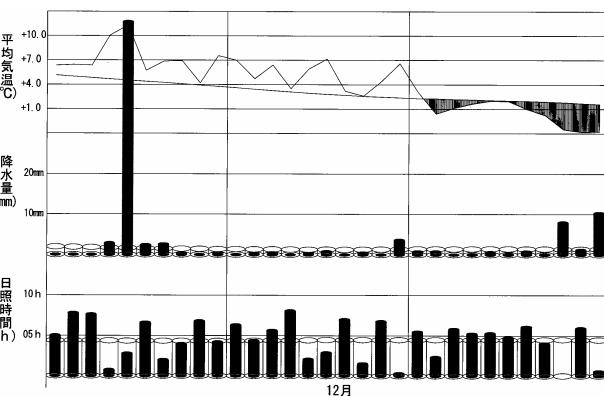
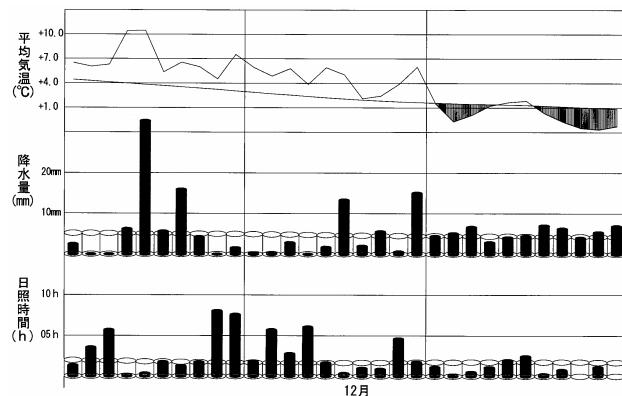
(4) 2004 年 12 月の月気候表

地 点	月平均気温(平年差) 階級	月降水量(平年比) mm % 階級	月間日照時間(平年比) h % 階級	月最深積雪(平年値) cm cm 階級	月降雪量(平年値) cm cm 階級
青 森	2.6 (+1.3) + *	239.5 (161) + *	51.2 (94) 0	90 (51) + *	238 (177) +
深 浦	3.6 (+1.1) +	215.5 (171) + *	x (x)	31 (17) +	--- (---) ---
む つ	2.0 (+0.8) +	159.0 (170) + *	84.0 (114) +	29 (24) +	--- (---) ---
八 戸	3.1 (+1.5) + *	109.5 (263) + *	139.4 (109) +	10 (10) 0	9 (21) -
秋 田	4.2 (+1.4) + *	195.5 (119) +	47.7 (100) 0	23 (16) +	45 (50) 0
盛 岡	1.9 (+1.1) +	100.5 (156) + *	127.7 (122) + *	13 (17) 0	18 (41) -
大 船 渡	4.4 (+0.9) +	87.5 (237) + *	132.1 (95) -	11 (4) + *	14 (7) +
宮 古	3.8 (+0.8) +	78.5 (197) +	147.1 (97) 0	29 (6) + *	30 (9) + *
仙 台	5.4 (+1.1) +	63.5 (241) + *	137.7 (95) -	16 (7) +	26 (11) + *
石 巍	4.6 (+1.2) +	82.0 (331) + *	150.9 (97) -	21 (5) + *	--- (---) ---
山 形	3.7 (+1.3) + *	71.5 (93) 0	106.5 (125) + *	19 (23) 0	35 (59) 0
新 庄	3.1 (+1.7) + *	203.0 (96) 0	65.1 (175) + *	60 (50) +	--- (---) ---
酒 田	5.7 (+1.4) + *	181.0 (90) -	62.8 (140) + *	13 (13) +	24 (33) 0
福 島	5.2 (+1.0) +	65.5 (202) + *	131.1 (100) 0	20 (10) + *	30 (19) +
若 松	3.4 (+1.5) + *	60.0 (72) -	87.5 (122) +	8 (28) -	21 (73) -
白 河	3.9 (+1.2) + *	72.5 (290) + *	141.4 (90) -	12 (8) +	--- (---) ---
小名浜	7.6 (+1.5) + *	113.5 (324) + *	179.6 (97) 0	3 (1) +	3 (1) +

観測値欄の記号は、x : 欠測) : 欠測日を含む : 現象なし --- : 観測をしていない

階級は + : 高い(多い) 0 : 平年並 - : 低い(少ない) * は「かなり」を表す

(5) 2004 年 12 月の日別経過図



東北日本海側の日別経過図
東北太平洋側の日別経過図
気象官署の日別観測値と日別平年値の地域平均 (気温 : 実線と点線、降水量・日照時間 : 黒い円柱と白抜き円柱)

注) 階級は「低い(少ない)」「平年並」「高い(多い)」の 3 階級とし、それぞれの階級幅は、1971~2000 年の 30 年間ににおいて出現した値を等確率 (33.3%) に区分しています。また、低い(少ない)方または高い(多い)方から出現率 10% の範囲を、それぞれ「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」と表し、補足的に用います。本資料の本文にある階級の表現も、「かなり低い(少ない)」、「かなり高い(多い)」に該当する場合はそのように記述し、細分地域により階級表現が異なる場合は地域を細分して記述しています。

(6) 2004 年 12 月の極値・順位の更新

(月平均気温、月降水量、月間日照時間、降雪の深さ月合計の 3 位まで)

月平均気温 高い方からの極値・順位更新

順位	地点名	気温()	これまでの最高()(起年)	統計開始年	平年値()
3 位	新庄	3.1	4.2(1990)	1985	1.4

月降水量 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降水量(mm)	これまでの最大(mm)(起年)	統計開始年	平年値(mm)
1 位	深浦	215.5	200.6(1957)	1940	126.2
	白河	72.5	48.5(2002)	1994	25.0

月間日照時間 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	時間(h)	これまでの最大(h)(起年)	統計開始年	平年値(h)
1 位	山形	106.5	106.0(1996)	1895	85.1
2 位	新庄	65.1	67.0(1997)	1985	37.3
3 位	盛岡	127.7	149.3(1966)	1923	104.4

降雪の深さ月合計値 多い方からの極値・順位更新

順位	地点名	降雪の深さ合計(cm)	これまでの最大(cm)(起年)	統計開始年	平年値(cm)
2 位	宮古	30	42(1976)	1953	9

(7) 季節現象の初日と初冠雪

2004年(平成16年)季節現象(初日)									
官署名	初霜			初氷			初雪		
	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年	本年	平年	昨年
青森	11.08	10.23	11.11	11.16	10.29	11.11	10.27	11. 7	11.22
八戸	11.08	10.27	11.11	11.29	11. 2	11.14	11.29	11.11	11.22
秋田	12.09	11. 6	10.27	12.09	11.13	11.24	11.28	11.12	11.22
盛岡	10.28	10.18	10.27	10.28	10.24	10.27	11.16	11. 8	11.22
大船渡	10.28	11. 5	10.27	10.28	11.11	11.23	12.17	11.18	11.22
宮古	10.28	10.31	10.27	10.28	11. 5	11.15	12.15	11.16	11.22
仙台	12.03	11. 6	11.15	12.03	11.16	11.24	12.17	11.22	12. 7
山形	10.28	10.24	10.27	10.28	10.29	10.27	12.16	11.16	11.23
酒田	12.09	11.12	11.19	12.22	11.20	11.24	12.16	11.17	11.22
福島	10.29	11. 6	11.15	11.30	11.11	11.15	11.30	11.24	12. 4
若松	10.29	10.28	11. 5	11.24	11. 6	11.18	11.30	11.17	11.22
小名浜	12.03	11.11	12. 8	12.03	11.19	12.17	12.23	12.13	12.20

初冠雪								
山岳名	海拔(m)	本年	平年	昨年	山岳名	海拔(m)	本年	平年
八甲田山	1584	10.23	10.16	10. 5	朝日岳	1870	10.28	10.19
岩木山	1625	10.28	10.15	10. 5	雁戸山	1485	10.28	10.28
階上岳	740	12.06	11.12	12. 4	滝山	1362	10.27	10.30
太平山	1170	10.27	10.31	11.23	箕ヶ岳	1175	10.27	11. 6
岩手山	2038	10.27	10.13	10. 5	蔵王山	1841	10.27	10.23
五葉山	1351	12.06	11. 7	11.23	吾妻山	1949	10.27	10.21
鳥海山	2236	10.17	10. 9	10. 5	飯豊山	2105	10.16	10.17
月山	1984	10.18	10.15	10.17	磐梯山	1819	10.27	10.24

注：蔵王山は熊野岳、吾妻山は一切経山の標高を示す。